

平成 20 年度第 1 回図書館協議会会議録

日 時 平成 20 年 6 月 25 日 (水) 午前 10 時～11 時 30 分
場 所 図書館 3 階保育室
出席委員 濱田委員 浜口委員 草薙委員 伊藤委員 野村委員
小茂田委員 河永委員 樋口委員
欠席委員 寺島委員 渡辺委員

事務局 川西教育長 齊藤所長 井上館長 三宅主査 竜田部長 川島
蓮沼 戸松

傍聴者なし

1 開会

委員長選出までの間、館長が進行

2 新委員の任命書交付

川西教育長より任命書交付

3 教育長あいさつ

4 委員及び職員自己紹介

別紙「委員名簿」順に自己紹介

事務局自己紹介

5 委員長選出

濱田委員に決定

6 委員長あいさつ

これより議事については委員長が議長となる。

委員長、議事に先立ち会議録署名人を指名。小茂田委員 樋口委員

7 報告事項

委員長 ①平成 19 年度事業結果について説明願います。

事務局 資料 1 「平成 19 年度利用サービス(評価指標)の状況」、資料 2 「図書館開館 20 周年記念事業結果」及び資料 3 「平成 19 年度児童関係事業実績」について説明。

委員長 ただいまの事務局の説明について何かご意見やご質問はありませんか。

無いようなので、②インターネットによる予約貸出状況等について説明願います。

事務局 資料 4 「インターネットを利用した新たな情報提供システムに係る利用状況」について説明。

- 委員長 ただいまの事務局の説明につきまして、何かご意見やご質問はありますか。無いようですので――。
- 委員 別件ですが、先日、本館で友人が本を借りようとしたら、本館にはなく、分館にあったので予約しようとする、分館に行かないと予約はできないと言われたが、インターネットの時代にどうなっているのですか。
- 事務局 インターネット予約は翌朝 9 時に確定することになっており、それまでは仮予約の状態なので、当日の貸出は来館者が優先となるため、借りられてしまう可能性があります。
- 委員 そういう仕組みだと、来館者が借りて返した後、また来館者に借りられてしまうと、いつまでも予約できないことになるのではないのでしょうか。
- 事務局 その場合、返してきた時点で予約が優先されることになり、書棚には並ばないこととなります。
予約の本来の趣旨は、借りられている本を予約するためのものです。棚にある本については当日中に来館してもらえるものであれば、取り置きは可能です。
来館者優先というシステムは、図書に限らず、「まなびい」の施設貸出もそうになっており、どこの図書館でもこういうシステムになっています。
- 委員 そうことは市民には周知されているのですか。
- 事務局 知らせてあります。

8 協議事項

- 委員長 ①平成 20 年度事業計画について説明願います。
- 事務局 資料 5 「平成 20 年度鎌ヶ谷市立図書館事業計画」について説明。
- 委員 学校との連携について、今年になってから時間は、まだ、あまり経っていないが、具体的な事例は何かありますか。
- 事務局 5 月に開催された教頭会議において図書館ホームページでの蔵書検索システムの活用や、団体貸出など市立図書館の利用についてお話しさせていただきました。また、7 月には学校図書館司書との連絡会をもつほか、司書教諭も含めた全体会議を今後もつ予定になっています。
このほか、本年度に入り、学校からの図書館見学が増えています。
- 委員 ブックリストとはどのようなものですか。
- 事務局 毎月、テーマを決めて児童書の展示等を行っていますが、これらを

もとにしてリストを作成していきたい。

委員 課題図書といったように学年別、季節等、テーマ別に作成されたリストがあることは望ましいことだと思います。

委員長 それでは、②利用者アンケートについて説明願います。

事務局 資料6「図書館利用者アンケートの実施について」を説明。

委員 (2)調査方法についてですが、来た方すべてに渡すのですか。

事務局 そのとおりです。

委員 お子さんを連れてきた場合にも1枚でしょうか。

事務局 1枚で考えています。

委員 連れてきた子どもの人数を記入してもらおうとよいと思います。

委員 年齢は何歳から渡すのですか。

事務局 年齢は特に決めていません。

委員 子どもは何回も来るが、その場合、問題はないでしょうか。中学生以上としてみてもはどうですか。

委員 子どもをつれてきた場合、同伴者数の記入と子どもにもアンケートを渡してはどうでしょうか。

委員 問題なのは、アンケートの目的は何なのかということ、何を知りたいのか、ということを確認にしないと、いけないのではないのでしょうか。

それと、すべて記入式なのか、あるいは選択式なのかについても。

事務局 目的は、普段、われわれが接することのできない来館者の考えやニーズを把握して業務運営に生かすということであり、方式については、ほとんどを選択式とし、一部記入式としたいと考えています。

委員長 小学生も書けるアンケートとなると、2種類用意することになるかもしれないが、大丈夫ですか。

事務局 第一義的には一般からの意見を聞きたいということですが、子どもの意見も、と言うのであれば、何とか工夫してみたい。

委員長 では、委員さんの意見としては、小学生の意見についても知りたいと考えますか。

[分かったほうがよいとの声あり。]

委員長 それでは、同伴者数を記入できるようにすることと、小学生の意見も反映できるようにする、ということでお願いします。

委員 質問項目は17年度に行ったものと共通しているのでしょうか。

事務局 共通しているものもありますが、新たな調査項目もあります。

委員 アンケートの結果については公表するのですか。

事務局 公表したいと考えています。

今年度2回目の会議においてアンケートの結果を皆さんにお示ししたい。

委員 ところで、委員の皆さんは「子ども読書活動推進計画」という冊子を知っておられますか。読書活動の推進に関しては、学校図書室の実態を知ることが重要で、学校図書室を見学したいとの意見が前から出ていますが、なかなか実施できない状況です。何ヶ所か見学する計画はできないでしょうか。

委員 昨年は、学校図書館の司書さんがまだ全校に配置されていないなか、学校図書館司書との集まりを設けるのに大変な苦労があったと聞いていますが、ここら辺も配慮しないといけないのではないのでしょうか。

委員長 私のところ(南部小)でやってみてはどうでしょう。

委員 道小と初小は全く見に行っていないこともあり、体制のできている所を見るより、できれば司書のいない所を見たい。学校に要望するだけではなかなか進まないの、いいアイデアがあれば協議会で提案をしたいと思います。

委員長 南部小は普通の学校ですので、まず第一歩としてやってみて、その後、もっと見たければ、校長会に私の方から話をしてよいと思います。

7 閉 会

委員長 それでは、以上で本日の図書館協議会を終了いたします。

会議録署名人署名

以上、会議経過に関する記載に相違ないことを証明する。

平成20年7月3日

氏 名 小茂田 茂

氏 名 樋口 美佐子